

第4分科会

分科会名

多様な地域学習が未来をつくる。

～自分の地域のコト知っていますか～

協議の柱

きっかけは地域を知ること。

出会い、つながり、わたしたちの未来が見えてくる！？

松本工業高校と第三地区による今井五介の功績を紹介した冊子のアニメーション化などの事例から、地域学習の可能性を話し合しましょう。

1 当日までの分科会運営委員会等での議論

本分科会は、地域学習や歴史・文化の継承というテーマから、委員がそれぞれの地域で行われている取り組みを持ち寄り、思いや工夫、課題、成果を共有しました。

関わる人や経過・背景・実施方法などが異なる実践を捉える中で、地域には「歴史のコトが好き、もっと知りたい」という思いの人がいる一方、知る「きっかけ」が少ないという意見がありました。

また、どの地域にも伝えていきたい歴史文化があり、「どのように伝え、つなげていくのか」という課題も見えてきました。

そこで、本分科会では、

①きっかけづくり

②伝えていく

③つなげていく をキーワードとして、課題の認識や地域学習と地域コミュニティの広がりを考えていくことになりました。

2 分科会の進め方

①松本工業高校と第三地区による今井五介の功績を紹介した冊子のアニメーション制作

②島内地区平瀬城跡（特別史跡）を核にしたコミュニティづくり の2つの事例を中心に、参加型の話し合いを行います。多様な地域学習や歴史文化の継承の取り組みなどの実践からポイントを探り、それぞれの今後の活動のヒントとなるようなことを持ち帰る分科会を目指します。

コーディネーター

第三地区まちづくり協議会副会長／第三地区公民館報編集委員会委員長

降旗 都子 氏

プロフィール

2004 年から第三地区の公民館報編集委員として活動、現在は委員長を務める。カタクラモールの再開発に際して、まちの歴史を大切に、地元意見を取り入れた開発を業者に要望。行政・民間企業・地域住民の三者の話し合いを経てイオンモールが完成する。この際、第三地区まちづくり協議会が設立され、その副会長を務めるとともに、まちづくりとまちの歴史文化を子どもたちに伝える活動に取り組む。2018 年3 月まで保育士、現在はブドウ農家。

話題提供者①

アニメーション制作担当

松本工業高校生

藤牧希実【ナレーション】上條愛花・山中翠【台詞演出】塚原時和【動画編集】塩沢飛耀河【画コンテ】

話題提供者②

島内公民館 館長

上條 光司 氏

プロフィール

令和元年より島内松島町内公民館長。令和2年4月より松本市島内公民館館長 現在に至る。

～地域の歴史を次世代に伝える～
松本の近代産業発展の歴史冊子「お蚕さまから生まれた街」
松本工業高校生によるアニメーション化の取り組み

第三地区まちづくり協議会副会長
降旗 都子
松本工業高校（藤牧希実・上條愛花・
山中翠・塚原時和・塩沢飛耀河）

松本市第三地区まちづくり協議会では、2012年から現在のイオンモール松本の場所にあった片倉松本製糸場をはじめとする、松本の近代産業発展の歴史を次世代に伝える取り組みをしてきました。その中で 2018 年度に松本出身のお絵かき芸人ヤボンスキーこばやし画伯に「お蚕さまから生まれた街」という漫画を描いていただき歴史冊子と歴史マップを作製しました。それを今年度、松本工業高校の生徒がアニメーション化に取り組み、2022年1月8日にイオンモール松本にて完成披露会をしました。

1 地区の歴史を伝えるための工夫

- カタクラモール再開発がきっかけで、あまり知られていなかった地区の歴史を知り、この歴史を次世代に伝えていくにはどうしたらよいか考え、2012年から活動をしている。
- まち歩き、まちづくり新聞、イオンモールと協働で古い建物をレプリカで残す、碑文をイオンモールの中に作る、などやってきたが、なかなか多くの人に知ってもらうことが出来なかった。
- 学校の総合学習の時間でまち歩きもしたが、もっと子どもたちが興味を持てる資料が必要と考え、可愛いイラストを使い読みやすい資料を作る。

<関係団体との関わり>

- ヤボンスキーこばやし画伯にイラストを依頼、漫画を描いてもらう。
- 文書館の小松芳郎先生に監修をお願いした。
- 松本工業高校の生徒たちにアニメ化をしてもらう。
- イオンモール松本との協働

2 プロセス

2012年 カタクラモール再開発によって地区が激変するにあたり、「まちづくり講座」を開催しました。その中で第三地区の歴史を文書館の小松芳郎先生に講演してもらい学ぶと同時に片倉工業㈱に地元の声を聞いて歴史を大切にしたい開発をと有志団体「まちづくりを考える会」を作り、手紙を送ったことからこの活動が始まりました。まちづくり新聞を発行し地区の人に歴史を知ってもらい、昭和4年に建築された片倉松本製糸場の建物の保存についてもアンケートを配布して民意を聞く作業もしました。

2014年には、まちづくりを考える会で「親子でまち探検隊」を企画、松本の近代産業発展の歴史について子どもにも読みやすいルビ入りの説明書(小松芳郎先生監修)を作りました。これが歴史冊子「お蚕さまから生まれた街」のたたき台となっています。

歴史冊子完成後、近隣の小中学校、高校へ冊子を届け地域学習に利用していただけるように働きかけをおこないました。この時、松本工業高校へもお届けしました。その際に、「うちの生徒たちならアニメ化もできますよ」と提案され、それが今年度実現しました。

3 成果

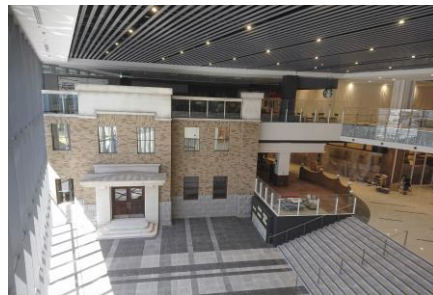
- 大変クオリティーの高いアニメーションが出来ました。
イオンモール松本の片倉松本製糸場の事務所棟レプリカの前でアニメの発表会をして多くの方に見てもらうことが出来ました。また、ショッピングモールと言うことで、買い物に来られた方々も足を止めてアニメーションを見ていました。
- 1月24日から松本市の公式YouTubeで公開。
- 学校にはDVDで配布し、タブレット学習で使ってもらえるように働きかけています。

<制作した松本工業高校生の感想>

- 今まで今井五介について知らなかったが冊子を読んでこんな素敵の方がいたんだと嬉しく、誇らしく思う。
このアニメーションを機に、より多くの方に存在が知れ渡り地元で誇りを持ってもらえるようになると嬉しい。
- 今井五介の存在について、これから松本を作り上げていく子供たちに知ってもらい後世語り継いでほしい。
アニメーション制作に限らず、これからは未完成の今井五介像を完成させるためクラウドファンディングを行うなど、今井五介を多くの人に知ってもらう活動をしていきたい。



2014年 親子でまち探検隊の様子



イオンモール松本の片倉松本製糸場の事務所棟デザインと碑文



昭和4年頃の片倉松本製糸場事務所棟



カタクラモール



2018年度作成の歴史冊子とマップ



イオンモール松本での制作発表会での試写の様子



松本工業高校にて制作中の試写の様子



イオンモール松本での制作発表会の様子

「地域の歴史的文化遺産を活用した コミュニティづくり」

島内公民館
館長 上條光司

1 事業の概要

- (1) 具体的な取り組みの内容
- 住民組織「島内地区歴史文化財調査委員会」と「平瀬古城会」が中心となり、地域の歴史文化遺産を活用した、保全・学習・周知活動などを通じて、住民の地域愛着醸成やコミュニティづくりを推進するとともに、地域外への情報発信によって、地区全体の価値を高めることを目指すものです。
- (2) 関係団体など
- 「島内地区歴史文化財調査委員会」「平瀬古城会」「島内史談会」

2 話し合い判断し行動に移したプロセス

- (1) 活動のきっかけ・話し合い・行動
- 島内地区では、歴史文化財を活用した学習会や保全活動などを通じて地域づくりが進められてきましたが、松本市特別史跡「平瀬城跡」の活用・保全を推進する住民組織「平瀬城跡一口城主会」の解体を受け、新たな受け皿の必要性が生まれました。
- 一方で、地域内の文化史跡ネットワーク化や地域歴史冊子の発刊を求める声が住民から寄せられていたため、平瀬城跡を核に地域の歴史的文化遺産関係者で「平瀬古城会」を組織し(ネットワーク化)、文化財の保全・学習・周知活動を推進するとともに、地区で初めてとなる歴史冊子を発刊しました。
- さらに、松本市文化財課の「まつもと文化遺産認定制度」へ登録し、地区の歴史文化財の価値を高めるとともに、今年度は松本平初となる史跡での狼煙上げを含めた「平瀬城跡のろし祭り」を実施しました。
- 会のコンセプトは、「会員が楽しみながら、自由に意見を出し合い、積極的かつ主体的に活動する」とし、のろし祭りも含めて会員の皆さんでアイデアを出しながら、検討をスモールグループで進め、実施は会全体で行うという手法で進めています。

3 成果・課題と今後の展望

- (1) 事業や実践に対する成果と課題
- 平瀬古城会は令和2年に設立しました。会の方針の一つに「自分たちが楽しみながら、できることを・できる範囲で実施する」ということもあるため、「実施までのプロセス」と「実施できたこと」が大切だと考えています。

令和3年度活動結果

《継続事業》

1 整備保全活動
(1) 主郭・登城路・曲輪等の整備 7/30(金)・9/25(土)の2回、延べ50名の会員参加により作業実施 ※当初、第1回は6/5(土)を予定。雨天により有志で集まり7/30に実施
(2) 登城路の丸太橋修理・看板設置
2 周知活動
(1) まつもと文化遺産「鳴之内の成立と発展」パンフレット配布 松島中学校2年生、平瀬城跡入山入口等で配布

(2) 島内公民館報「歴史すごろく」コーナーでの周知 歴史文化財の今昔を紹介する「歴史すごろく」コーナーで、①熊倉の渡し(1/30号)、②長尾道(3/30号)、③塩の道「旧糸魚川街道」(9/30号)、④野麦支道(1/30号)を紹介
3 学習活動 松島中学校社会科体験授業(松島中学校コミュニティ・スクール事業) 会員の信州松本藩鉄砲隊員を講師に、2年生を対象に火縄銃を通じた歴史学習を実施。座学や会員が所有する火縄銃に触れる機会を提供

《新規事業》

1 平瀬城跡狼煙まつり 10/9(土)、平瀬氏館跡での狼煙上げを受け、平瀬城跡では狼煙上げ・火縄銃演武・太鼓演舞を実施。当日の様子を映像化し、2/1からDVDの貸出を行う予定
2 平瀬城ウォーキングの開催 10/16(土)、島内健康ウォーキングのコースを、平瀬城跡への登城に設定し、町会長や町内公民館長へも参加を呼び掛けて実施
3 小中学校職員への学習材提供・活用 11月に町会連合会と切り絵作家等により制作された、鳥居火行事を紹介する切り絵紙芝居「しまうちのとりいび」を活用。また、11/6(土)の第2回島内文化ふれあいまつり特別ステージでは、地区へのお披露目も兼ねて、公民館図書視聴覚委員の読み聞かせを実施
4 染物体験・酒造り 10/25(月)、白木染工場での染物体験を実施。笹井酒造協力による、会員向けどぶろく酒づくり事業は1～3月にかけて実施予定(両事業所とも関連文化財であり古城会会員)

令和4年度活動計画

年2回(6/4土、9/23金・祝)の整備作業や周知・学習活動、狼煙まつり(10/8土)のイベントなど、令和3年度の事業をベースに、次の新規事業へ取り組む予定です。

1 町会を単位とした平瀬城ウォーキング 町内公民館との連携により、町会単位の平瀬城ウォーキングを開催
2 平瀬城跡・関連史跡・関連文化財群を活用したウォーキングコースの設定 地区内の文化財を学習してコースを設定。令和5年以降のマップ作成へつなげる。
3 平瀬城跡遊歩道整備委員会の設置 下田・山田地籍内の平瀬城跡等を、一帯的に歩けるような検討・整備を推進
4 視察研修会の実施(会員向け) 会員からの要望を踏まえ、日帰りの研修会を実施